

### 第3学年 国語科学習指導案

#### 1 単元名 せつめいのしかたに気をつけて読んだり書いたりしよう「すがたをかえる大豆」

#### 2 指導の考え方

- 子どもたちはこれまでに、「ありの行列」の学習を通して、問題提示から結論へとつながる文章構成をつかむことや段落を意識して要点をとらえることを学習してきた。

しかし、接続語に注意して読んだり、段落相互の関係に注意して読んだりすること、筆者の意見と事実の関係を考えて読む力はまだ身に付いていない。また、調べるために必要な本を選んだり、段落を意識して文章を書いたりすることにはまだ慣れていない。

- 本教材は身近にある大豆やその加工食品について書かれた説明文である。「すがたをかえる大豆」には、そのままでは固くて食べにくく消化にも良くない大豆を、さまざまな工夫を加えることで、食べやすくおいしい別の食品に姿を変えて食べている知恵について書かれている。教材文の読み取りから、身近な食べ物について見方・考え方を広げるとともに、姿を変えている他の食べ物について興味をもって意欲的に調べたり、書きまとめたりする学習につなげることができる教材である。

教材の特質としては、「いちばん分かりやすいのは、次に、また、さらに」などの接続語や「それ、これら」などの指示語がとらえやすく、接続語や指示語を読む読み方の習得に適していることが挙げられる。また、姿を変えていることが分かりやすい順に事例が並べられていることから、工夫に対する驚きを読ませることができ、段落相互の関係を考えて読む力や筆者の意見と事実との関係を考えて読む力の習得にも適した教材である。

- 読みのめあてをつくる段階では、まず、単元名から学習の構えを持たせ、題名から考えたことや疑問に思ったことを冒頭とつないで読み、読みのめあて「(1)大豆はどんな工夫で、何に姿を変えているのだろうか。(2)なぜ大豆なのだろうか。」を生み出す。

次に全文を読み通して、読みのめあて(1)については③～⑦の段落、(2)については⑧⑨の段落に着目させて予見を書きまとめさせる。学習計画では、⑨の段落の「大豆のよいところ～ちえにおどろかされます」に着目させて、どんなちえに驚いたのかを読み確かめていくことを確認する。

読み確かめの段階では、各段落毎に指示語や接続語に着目させて読んだり、段落と段落を比べて共通点や相違点を考えさせたりしながら、どんなちえがあるのかを読み確かめていく。

読みと読み方のまとめの段階では、大豆をおいしく食べるための工夫について振り返り、昔の人々の知恵についてまとめ、自分はこの学習を通してどのようなことに驚いたのか考えを書きまとめさせる。また、どんな読み方を使って読んだかをふり返らせ、読み方のまとめをする。

さらに、学習したことをもとに、身近な食品について関心を広げさせ、調べたり、書いたりする活動へと意欲をつないでいく。その際、学校栄養職員を招いて、大豆がいかに栄養価が高く健やかな身体をつくる上で効果的な食品であるかを話していただく機会をつくったり、図書司書の先生にも協力を依頼し、本や図鑑などの資料を利用して調べる方法を尋ねたりすることで、意欲的に調べたり、調べたことを文章に書きまとめたりさせていきたい。その際、読むことの言語活動例イ「記録や報告の文章、図鑑や事典などを読んで利用する言語活動～目次や索引を利用して、課題解決に必要な資料を選び、利用する言語活動」を取り入れ、段落相互の関係や接続語を使うことを生かして調べたことを書きまとめる言語活動ができるようにつないで指導していく。

#### 3 目標

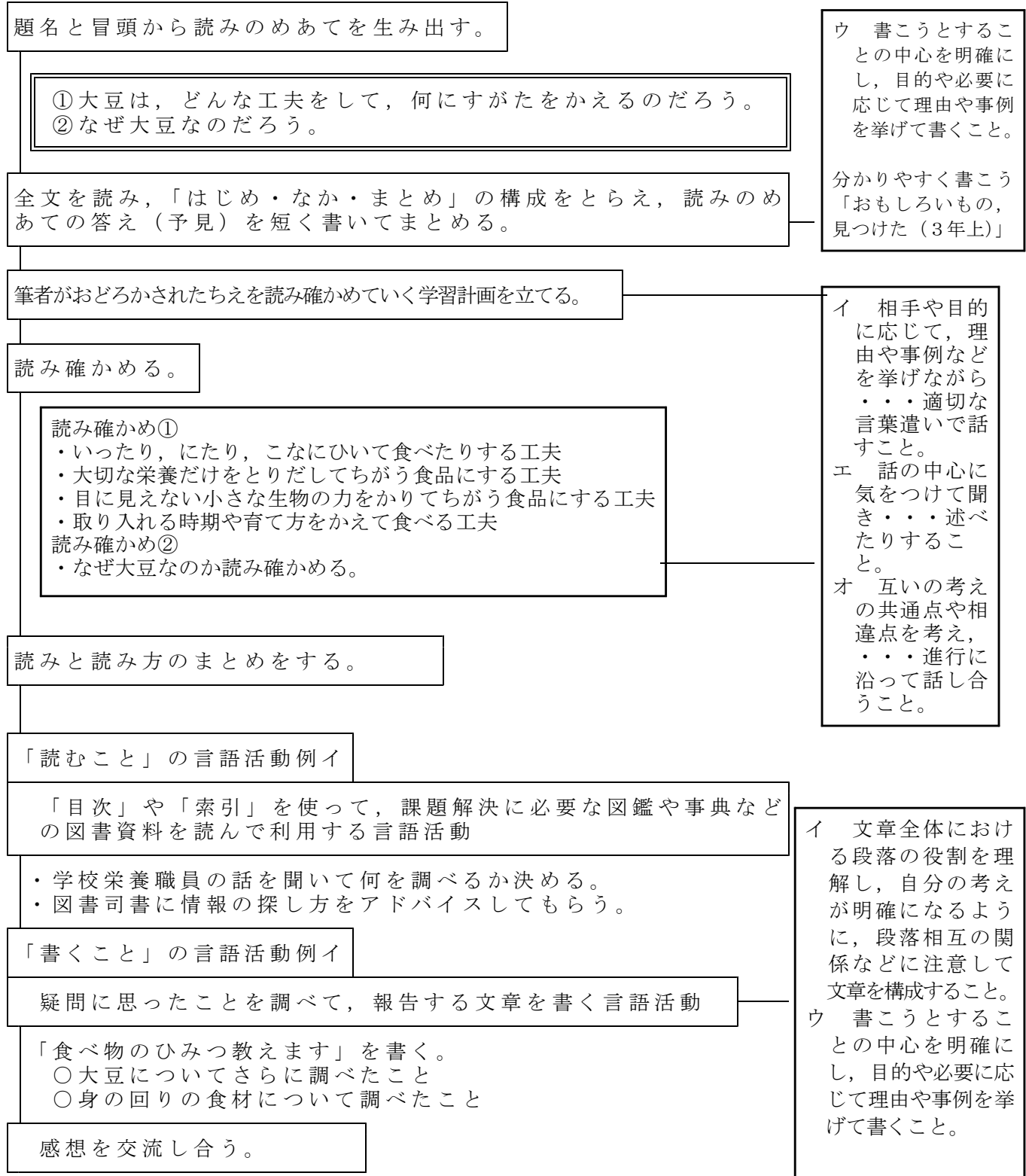
- 接続語や指示語、段落相互の関係に着目して読む読み方を身につけることができるようにする。
- 大豆をおいしく食べる工夫をして食べやすい食品に変えた昔の人々の知恵を読み取り、身近な食べ物についての見方・考え方を広げることができるようにする。
- 身近な食品について図鑑や事典をを読んで利用して調べ、分かったことを段落や接続語に注意して書き表すことができるようにする。

#### 4 単元構想図

目標

- 接続語や指示語，段落相互の関係に着目して読む読み方を身につけることができるようにする。
- 大豆をおいしく食べる工夫をして食べやすい食品に変えた昔の人々の知恵を読み取り，身近な食べ物についての見方・考え方を広げることができるようにする。
- 身近な食品について図鑑や事典を読んで利用して調べ，分かったことを段落や接続語に注意して書き表すことができるようにする。

#### 第3学年及び第4学年「読むこと」の言語活動例 イ 記録や報告の文章，図鑑や事典などを読んで利用すること



5 学習計画 (全18時間)

時	学習活動と内容	指導上の留意点(※他の領域との内容の関連)
1 / 18	<p>1 単元名とリード文を読んで話し合い、学習の構えをつくる。</p> <p>2 題名を読んでつくった疑問をもとに冒頭を読む。</p> <p>3 題名と冒頭から読みのめあてをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おいしく食べる工夫ってどんな工夫だろう。</li> <li>・なぜそこまでして食べたのだろう。</li> </ul> <p>(1) 大豆は、どんな工夫をして、何にすがたをかえているのだろう。</p> <p>(2) なぜ大豆なのだろう。</p>	<p>○ 説明文を読んだ後、「食べ物のひみつ教えます」で、食べ物について調べて書く活動をしていくことについて見通しを持たせる。</p> <p>○ 冒頭の「いろいろな食品にすがたをかえている」「そのため、いろいろ手をくわえて、おいしく食べる工夫をしています。」に着目させる。</p>
2 / 18	<p>1 読みのめあてをもとに全文を読み、語句の意味理解、新出漢字の読みを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2 段落を大きなまとまりに分ける。</li> <li>・ 3 「工夫」と「変わったすがた」「なぜ大豆なのか分かるところ」にサイドラインを引き、予見を書きまとめる</li> </ul>	<p>○ 国語辞典を準備させ、分からない言葉は意味を調べることができるようにする。</p> <p>○ 全体が9つの形式段落に分かれていることを確認する。</p> <p>○ (1)の答えは③～⑦段落に書かれていること、(2)の答えは、⑧⑨に書かれていることを確かめ、初め・中・終わりの文章構成になっていることを確認する。</p> <p>※ 読みのめあての答えにつながる場所にサイドラインを引かせ、「工夫」と「変わったすがた」、「なぜ大豆なのか」を書き抜かせる。</p>
5 / 18	<p>1 予見をもとに、学習計画を立てる。</p>	<p>○ 予見をもとに、よく分からなかったところやもっと知りたいことを出させ、⑨段落の「むかしの人々のちえにおどろかされます」とつないで、工夫と大豆のよいところを詳しく読んで、どこに昔の人々のちえがあるのか読み確かめていく意欲につなぐ。</p>
6 / 18	<p>1 本時めあてを確かめる。</p> <p>大豆を、いったり、にたりするくふうと、こなにひくくふうをくわしく読もう。</p> <p>2 すがたをかえる工夫とちえが分かる叙述に線を引き、読み確かめる。</p> <p>3 本時に読み確かめた内容を書きまとめる。</p>	<p>○ かたくて食べにくい大豆を煎ったり、煮たり、粉にひいたりして、食べやすくする工夫をした人々のちえについて読み取らせる。</p> <p>○ 3段落の工夫と4段落の工夫を比較し、粉にするとかけて食べることができることをとらえさせる。</p>
7 / 18	<p>1 本時めあてを確かめる。</p> <p>大豆を、大切なえいようだけを取り出してちがう食品にするくふうをくわしく読もう。</p> <p>2 すがたをかえる工夫とちえが分かる叙述に線を引き、読み確かめる。</p> <p>3 本時に学んだ読み方と読み確かめた内容を書きまとめる。</p>	<p>○ 大切な栄養だけを取り出して、違う食品にする工夫をした人々のちえについて読み取らせる。</p> <p>○ 3, 4段落の工夫と比較し、5段落の工夫は複雑で手間がかかることをとらえさせる。</p>
8 / 18	<p>1 本時めあてを確かめる。</p> <p>大豆を、目に見えない小さな生物の力をかりてちがう食品にするくふうをくわしく読もう。</p> <p>2 すがたをかえる工夫とちえが分かる叙述に線を引き、読み確かめる。</p> <p>3 本時で学んだ読み方と読み確かめた内容を書きまとめる。</p>	<p>○ 人間の力ではできないことを、小さな生物の力をかりて違う食品にする工夫をした人々のちえについて読み取らせる。</p> <p>○ 「力をかりる」という表現に着目させ、3, 4, 5段落は人の力であるが、6段落は小さな生物の力をかりなければできない工夫であることをとらえさせる。</p>

9 / 18	<p>1 本時めあてを確かめる。 取り入れる時期や育て方を変えるくふうをくわしく読もう。</p> <p>2 すがたをかえる工夫とちえが分かる叙述に線を引き、読み確かめる。</p> <p>3 本時で学んだ読み方と読み確かめた内容を書きまとめる。</p>	<p>○ これまでの段落は大豆に対する工夫であったのに対し、植物としてのダイズに対する工夫であることを、②段落とつないでダイズがカタカナ書きされていることからとらえさせる。</p>
10 / 18 本時	<p>1 本時のめあてをつかむ。 ⑧⑨段落を読み、「なぜ『大豆』なのか」をくわしく読もう。</p> <p>2 「昔の人々のちえ」について話し合い、なぜ大豆なのかを読み確かめる。</p> <p>3 本時で学んだ読み方と読み確かめた内容を書きまとめる。</p>	<p>○ 「大豆のよいところに気づき、食事に取り入れてきた昔の人々のちえ」という叙述に着目させ、なぜ大豆なのかをとらえさせる。</p>
11 / 18	<p>1 前時まで読み確かめたことをふり返し、読みのまとめと読み方のまとめをする。 (1) 読み確かめた内容をまとめる。 (2) 使った読み方をまとめる。</p>	<p>○ これまでに読み確かめてきたことを学習プリントや掲示物を使って確かめさせる。 ○ 接続語を読む、指示語を読む、段落相互の関係を読むなどの読み方を使って読んだことを振り返らせる。</p>
12 ) 18 / 18	<p>1 栄養教諭の話聞く。</p> <p>2 自分が調べたいことを決める。 ・大豆についてさらに調べたい。 ・栄養価の高い他の食べ物について調べたい。</p> <p>3 司書教諭の話聞く。</p> <p>4 索引や目次を使って、必要な情報を調べる。</p>	<p>※ 栄養教諭をゲストに招き、大豆がいかに栄養価が高く、給食にもよく使われているか、健康な身体を育む上で効果的な食べ物であること、大豆以外にもすがたをかえている食べ物がたくさんあることを話してもらう。</p> <p>※ 司書教諭に協力を要請し、調べたい食材のことが書かれた図書資料について紹介してもらったり、調べ方を教えてもらったりする。</p>
<p>〈紹介する資料〉「絵本 おもしろふしぎ食べ物加工 (全5巻)」 農山漁村文化協会 「ふしぎ発見 できるまで図鑑 (1)～(7)」 アリス館 など</p>		
<p>言語活動例イ「記録や報告の文章、図鑑や事典などを読んで利用する言語活動：目次や索引を利用して、課題解決に必要な資料を選び、利用する言語活動</p>		
<p>5 調べた事柄を整理して、文章に書きまとめる。</p> <p>6 お互いの文章を読み合せて感想を交流する。</p>		<p>○ 調べた情報を、どの順に書きまとめるか本文の段落構成を参考に決めさせる。</p> <p>※ 段落と接続語に注意して書きまとめさせる。</p> <p>※ みんなが書いたものを「食べ物のひみつ」としてまとめ、栄養教諭や図書司書に読んでいただくとともに、自分たちでも読み合せて、感想を交流させる。</p>

## 6. 本時の目標 (10/18)

- 「昔の人々のちえとは何か」や「大豆のよいところは何か」を考え、③～⑦段落とつないで読みのめあて②の「なぜ(他の食品ではなく)大豆なのだろう」に対する自分の考えをまとめることができる。
- 筆者の意見を読むために、「接続語を読む」読み方、「指示語を読む」読み方、「生活と比べて読む」読み方を活用しながら、「まとめの段落とつないで読む」読み方を習得することができる。

## 7. 本時指導の考え方

- 本時は、まとめの⑧・⑨段落を読み、読みのめあて②の「なぜ(他の食品ではなく)大豆なのだろう」を読み確かめる学習である。「大豆のよいところに気づき、食事にとり入れてきたこと」が「昔の人々のちえ」であると書かれていることから、それをくわしく読んでいくことで、「なぜ大豆なのか」という読みのめあてに対する予見を読み確かめることができるようにする。

まず、「大豆のよいところ」について考えさせる際には、根拠となる叙述を挙げて自分の言葉で書かせるようにする。

そして、「食事にとり入れてきたちえ」について考えさせる際には、「生活とつないで読む」読み方を活用し、自分の食生活の中でいかに多くの「大豆」が食べられているか例を挙げて発表させるようにする。また、③～⑦段落で読み確かめた工夫についてふり返らせることで、それらをまとめて「食事にとり入れてきた」と書かれていることに気づかせ、「まとめの段落と事例をつないで読む」読み方を習得させたい。

③～⑦段落と⑧段落をつないで「昔の人々のちえ」をくわしく読むことで、なぜそこまでして「大豆」を食べてきたのかについて読み確かめさせたい。

## 8. 板書計画

すがたをかえる大豆 国分 牧衛

めあて  
⑧・⑨だんらくを読んで、なぜ「大豆」なのかをくわしく読もう。

③～⑦だんらくの説明  
大豆はいろいろなすがたで食べられています。ほかの作物に比べて、こんなに多くの食べ方が考えられたのは、大豆が味もよく、畑の肉とよばれるくらいたくさんおいしく育つからです。そのうえ、やせた土地にも強く、育てやすいことから、多くのちいきで植えられたためでもあります。

大豆のよいところに気づき、  
どうやって食事にとり入れてきたの？

生活とつないで読む  
ちがう食品にすがたをかえて  
えだ豆  
なつとつにしょうゆ  
・とうふのみそしる

昔の人々のちえ  
食事にとり入れてきた  
・とうふのみそしる

今日の学習で  
昔の人々のちえって何？

なぜ「大豆」かというと、

大豆のよいところって何？  
いろいろすがたにかえて  
いる  
・おいしい  
・血や肉になるようなえいよ  
うが肉のようにたくさん入っ  
ている。  
・どんなところでも育つ。  
・じょうぶだから育てやすい。

まとめの段落と事例をつないで読む

9. 本時の展開 ( 10 / 18 )

学 習 活 動 と 内 容	指導上の留意点 (※は他の領域との内容の関連)
<p>1 前時までの学習をふり返り、本時学習のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>めあて ⑧・⑨段落を読み、なぜ「大豆」なのかをくわしく読もう。</p> </div>	<p>○ ③～⑦の段落で、大豆をおいしく食べるための工夫について学習したことを、掲示物などを用いてふり返らせる。</p> <p>○ ⑧段落の一文目を読ませ、接続語と指示語を読むことで、本時がまとめの段落であるということに気づかせめあてにつなげる。</p>
<p>2 本時に学習する⑧・⑨段落を音読する。</p>	<p>○ 「大豆のよいところは何か」「昔の人々のちえは何か」の答えにつながる叙述を見つけながら読ませる。</p>
<p>3 「昔の人々のちえとは何か」を考える。</p>	<p>○ ⑨段落から、「昔の人々のちえ」は何か考えさせ、「大豆のよいところに気づき、食事にとり入れてきた」ちえであることを確かめさせる。</p>
<p>4 「大豆のよいところ」について話し合う。</p> <p>(1) 学習プリントに自分の言葉で「大豆のよさ」を書く。</p> <p>(2) 自分なりの考えを発表し、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いろいろなすがたにかえている</li> <li>・ おいしい</li> <li>・ 血や肉になるようなえいようが肉のようにたくさん入っている。</li> <li>・ どんなどころでも育つ。</li> <li>・ じょうぶだから育てやすい。</li> </ul>	<p>○ 学習プリントに書かせる際は、できるだけ自分の言葉で「大豆のよさ」を書かせるようにする。</p> <p>○ 発表の際は、どの叙述を根拠にしたのかも発表させるようにする。</p> <p>※ 大豆のよさを話すときに「大豆のいいところは～だと思います。わけは～」という話し方で考えを述べるように指導する。</p>
<p>5 「食事にとり入れている」ちえについて話し合う。</p> <p>(1) 自分の生活とつないで考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ なっとうにしょうゆをかけている</li> <li>・ とうふのみそしるを食べた</li> </ul> <p>(2) ③～⑦段落とつないで、それぞれの工夫を確かめる。</p>	<p>○ 「生活とつないで読む」読み方を使って、できるだけたくさん発表をさせ、大豆が本当にわたしたちの食生活の中で多く食べられているのだということに気づかせる。</p> <p>○ ③～⑦段落の工夫を確かめることで、「まとめの段落と事例をつないで読む」読み方を習得させる。</p>
<p>6 本時の学習を振り返り、まとめる。</p>	<p>○ 「大豆のよいところ」と「(いろいろなくふうをしてちがう食品にすがたをかえて) 食事にとりいれている」ことを入れて、「今日の学習で」を書かせる。</p> <p>※ 自分の言葉でまとめる際、「なぜ『大豆』かという～。」という書き出しを与え、文末を「～からです。」とするように指導する。</p>